

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2012年10月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。  
 実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。  
 なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。  
 （アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 浪江・張替  
 TEL：03-3283-7839  
 FAX：03-3213-8716  
 E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

○調査期間：2012年10月16日～22日  
 ○調査対象：全国の417商工会議所が3076企業にヒアリング  
 （東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	464	254	54.7%	北海道	47.3%
製造	743	397	53.4%	東北	52.9%
卸売	322	175	54.3%	北陸信越	50.8%
小売	745	364	48.9%	関東	50.2%
サービス	802	376	46.9%	東海	46.3%
合計	3076	1566	50.8%	近畿	46.7%
				中国	54.1%
				四国	68.8%
				九州	53.9%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）  
 ※ DI値（景況判断指数）について  
 DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味着。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)  
 業況・採算：(好転) - (悪化)      売上：(増加) - (減少)

———【2012年10月調査結果のポイント】———

業況DIは、大幅悪化。日中関係による影響が拡大

10月の全産業合計の業況DIは、▲32.6と、前月から▲6.0ポイントの大幅悪化。中国経済の減速に加え、日中関係の悪化により、自動車をはじめとした日本製品の不買運動に伴う国内メーカーの輸出低迷や減産対応、中国人観光客の急減など、製造業・非製造業を問わず広く影響が及んでいる。  
 先行きについては、先行き見通しDIが▲28.9（今月比+3.7ポイント）と、改善する見込み。堅調なスマートフォン関連がけん引することが見込まれるほか、冬物商品の動きが期待されることなどが要因。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。超円高の定着や、穀物・原油価格の高止まりに加え、日中関係の悪化に伴う影響の長期化に懸念が強まっている。

ブロック・産業別業況D I（前年同月比：2012年10月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 32.6	▲ 21.5	▲ 33.8	▲ 29.1	▲ 45.9	▲ 27.6
北 海 道	▲ 18.1	▲ 8.0	▲ 14.3	0.0	▲ 41.7	▲ 18.2
東 北	▲ 21.0	▲ 4.5	▲ 30.0	0.0	▲ 32.1	▲ 21.4
北陸信越	▲ 34.6	▲ 20.6	▲ 31.3	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 46.2
関 東	▲ 32.0	▲ 24.6	▲ 30.8	▲ 46.3	▲ 36.3	▲ 26.0
東 海	▲ 24.7	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 23.5	▲ 47.4	2.3
近 畿	▲ 42.3	▲ 17.4	▲ 45.1	▲ 6.7	▲ 59.2	▲ 45.5
中 国	▲ 52.3	▲ 28.6	▲ 52.9	▲ 56.3	▲ 76.0	▲ 36.4
四 国	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 29.6	▲ 40.0	▲ 66.7	▲ 32.1
九 州	▲ 30.9	▲ 39.1	▲ 28.1	▲ 19.0	▲ 34.2	▲ 31.4

ブロック・産業別業況D I（先行き見通し：2012年11～2013年1月）  
 上段：2012年10月時点  
 下段：2011年10月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 28.9	▲ 24.2	▲ 31.6	▲ 24.6	▲ 37.7	▲ 22.6
北 海 道	▲ 30.8	▲ 35.5	▲ 26.8	▲ 32.4	▲ 30.1	▲ 31.9
東 北	▲ 13.8	▲ 24.0	▲ 23.8	7.7	▲ 29.2	3.0
北 海 道	▲ 27.0	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 16.7	▲ 23.8	▲ 20.0
東 北	▲ 21.0	▲ 4.5	▲ 30.0	0.0	▲ 32.1	▲ 21.4
北陸信越	▲ 23.1	5.3	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 11.5	▲ 46.2
関 東	▲ 33.3	▲ 32.4	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 38.9	▲ 30.8
東 海	▲ 33.0	▲ 54.5	▲ 10.7	▲ 50.0	▲ 28.1	▲ 39.1
近 畿	▲ 31.4	▲ 16.9	▲ 39.6	▲ 38.9	▲ 34.3	▲ 25.0
中 国	▲ 29.7	▲ 25.4	▲ 27.4	▲ 26.8	▲ 31.2	▲ 34.6
四 国	▲ 30.6	▲ 20.8	▲ 33.3	▲ 35.3	▲ 47.4	▲ 15.9
九 州	▲ 21.3	▲ 22.2	▲ 21.9	▲ 40.0	▲ 30.0	▲ 3.1
全 国	▲ 28.2	▲ 13.0	▲ 25.5	▲ 13.3	▲ 47.9	▲ 22.7
北 海 道	▲ 37.2	▲ 45.0	▲ 41.3	▲ 35.3	▲ 24.5	▲ 45.0
東 北	▲ 40.4	▲ 50.0	▲ 32.4	▲ 50.0	▲ 52.2	▲ 27.3
北陸信越	▲ 38.4	▲ 41.7	▲ 23.3	▲ 53.8	▲ 51.7	▲ 26.7
関 東	▲ 31.2	▲ 38.1	▲ 18.5	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 29.6
東 海	▲ 27.9	▲ 50.0	▲ 13.8	▲ 37.5	▲ 28.6	▲ 23.1
近 畿	▲ 23.3	▲ 37.5	▲ 21.9	4.8	▲ 23.7	▲ 31.4
中 国	▲ 38.6	▲ 60.9	▲ 32.1	▲ 23.1	▲ 37.8	▲ 35.5

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しD I（以下同じ）

産業別にみると、業況D Iは、全業種で悪化。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「太陽光発電の設置工事や介護リフォーム等の受注強化を図る」（建築工事業）、「消費税増税前の駆け込み需要が住宅分野で出始めているように感じる」（建築工事業）、「大型案件があったものの、大手住宅メーカーや市外の同業者との競争が激しく、総じて受注件数は低調」（一般工事業）

【製造業】「LPGガスの価格が上昇。10月1日から導入された環境税の負担とあわせて、非常に苦しい状況」（陶磁器製造業）、「中国経済の減速に加え、日中関係の悪化により中国向け製品の売上が減少している」（建設機械製造業）、「化学工場の事故による特殊塗料の調達への影響を危惧している」（漆器製造業）

【卸売業】「取引先からの値下げ圧力が増しており、やむを得ず対応したが、収益を圧迫」（コーヒー豆卸売業）、「取引先のスーパーが大手専門店等との競争で苦戦。自社にも影響が及んでおり、新規顧客の開拓が急務」（繊維品卸売業）、「鉄スクラップや紙の価格が下落しており、売上が大幅に落ちている」（再生資源卸売業）

【小売業】「10月に入って涼しくなったものの、いまだ秋冬衣料の動きが鈍い」（百貨店）、「飲食関連はほぼ前年並みで推移しているが、一部では中国人観光客の減少により、売上に影響が出ている」（商店街）、「取引先の中堅メーカーが独自にネット販売を開始。今後、自社の売上への影響を懸念」（化粧品販売）

【サービス業】「光熱費や食材の支出が増加。また、顧客企業が経費節減の一環で恒例の旅行イベントを見送るなど、厳しい状況」（旅館業）、「取引先である国内半導体メーカーの不振により受注が減少。自社では、海外展開を含めた対応策を検討する」（IT機器・ソフト設計開発）、「エコカー補助金終了に伴い、新車の販売台数は前月から減少」（自動車整備・販売業）

【業況についての判断】

○ 10月の景況をみると、全産業合計の業況DI（前年同月比ベース、以下同じ）は▲32.6（前月比▲6.0ポイント）と、大幅悪化。産業別にみると、製造業は、中国経済の減速や日中関係の悪化に伴う輸出低迷や取引先の販売不振による減産調整などの影響が出ていることからマイナス幅が拡大。卸売業は、取引先からの値下げ圧力がさらに強まっており、収益を圧迫していることから悪化。小売業は、秋物商品に期待ほどの動きがなかったことに加え、大手専門店等との競争激化で売上が低迷していることなどから業況は悪化。サービス業は、穀物や原油価格等の高止まりに加え、中国人観光客が急減したことなどからマイナス幅が拡大。

○ 向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）は▲28.9（今月比+3.7ポイント）と、改善する見込み。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は、秋冬に向けて公共・民間工事の減少が見込まれることなどから悪化。卸売業、小売業は、冬物商品の需要や年末商戦が本格化することなどから改善。サービス業は、忘年会や新年会シーズンを迎えるほか、年末年始の長期休暇を利用した観光客の入込みが期待されることなどから改善を見込む。

【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲27.5（前月比▲5.9ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、被災地の復興向け公共工事の入札不調による影響や、激しい受注競争により低価格化が加速していることなどから悪化。製造業は、中国向け輸出の低迷や日中関係の悪化に伴う取引先の販売不振による減産調整などの影響に加え、長引く超円高により国際競争力が落ちているなか、「2014年問題」を抱える造船業は、依然として新規の受注が乏しいことなどから、マイナス幅が拡大。小売業は、秋物商品に期待ほどの動きがなかったことに加え、客層拡大を図る大手専門店やコンビニ等に顧客を奪われていることなどから悪化。サービス業は、中国人観光客が急減したことなどからマイナス幅が拡大。また、依然として風評被害による売上低迷が続いているほか、基準値以内にも関わらず放射性物質が検出されたことから取引停止になるなど、原発事故の影響は根強い。

○ 向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しについては、全産業合計の売上DI（今月比ベース）は▲20.5（今月比+7.0ポイント）と、改善する見込み。

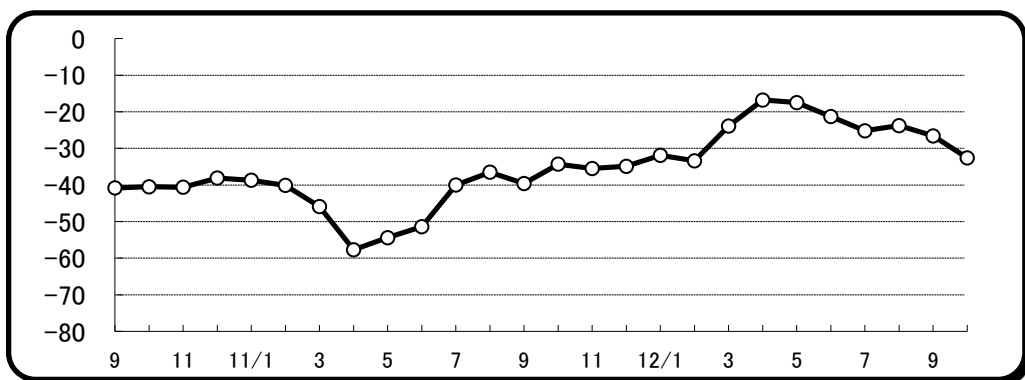
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、建設業は悪化、その他の4業種については改善する見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲17.5	▲21.3	▲25.2	▲23.8	▲26.6	▲32.6	▲28.9
建設	▲24.9	▲19.1	▲25.8	▲19.6	▲16.6	▲21.5	▲24.2
製造	▲7.5	▲13.7	▲18.1	▲21.9	▲27.8	▲33.8	▲31.6
卸売	▲14.0	▲14.5	▲23.6	▲27.3	▲19.3	▲29.1	▲24.6
小売	▲29.3	▲34.2	▲43.1	▲34.3	▲40.3	▲45.9	▲37.7
サービス	▲13.8	▲21.5	▲15.6	▲16.6	▲22.5	▲27.6	▲22.6

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

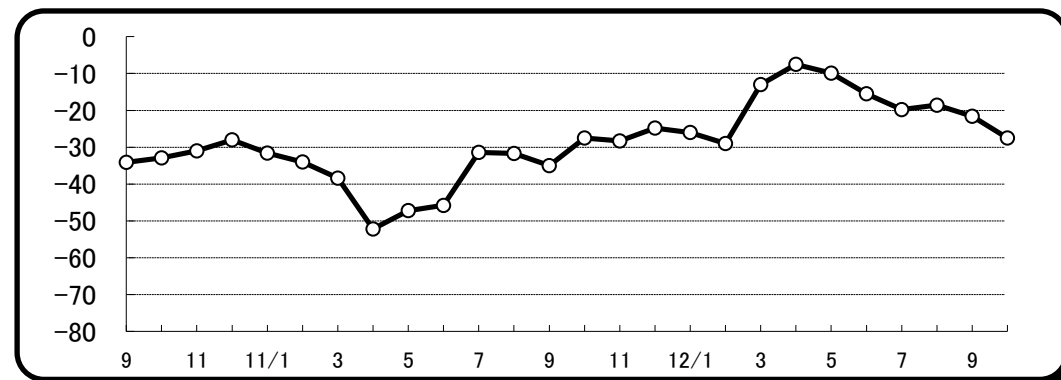
《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲9.9	▲15.5	▲19.8	▲18.6	▲21.6	▲27.5	▲20.5
建設	▲17.6	▲12.3	▲16.2	▲12.7	▲7.9	▲11.5	▲16.3
製造	0.5	▲7.5	▲13.0	▲17.5	▲25.5	▲30.3	▲25.6
卸売	▲6.7	▲9.5	▲20.7	▲17.8	▲17.4	▲26.9	▲10.9
小売	▲22.6	▲30.3	▲38.8	▲33.0	▲34.1	▲39.9	▲27.2
サービス	▲5.4	▲14.6	▲10.3	▲10.2	▲16.4	▲23.4	▲16.0

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲29.4（前月比▲5.4ポイント）と、前月からマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業は、新規工事の減少や、激しい受注競争により低価格化が加速していることで収益が確保できないことなどから悪化。製造業は、中国向け輸出の低迷や日中関係の悪化に伴う取引先の販売不振による減産調整などにより売上が減少していることからマイナス幅が拡大。小売業は、大手専門店等との価格競争の激化により販売価格を下げざるを得ないことなどから悪化。サービス業は、中国人観光客が急減した一方、電気代や穀物をはじめとした原材料価格の上昇により収益を圧迫していることからマイナス幅が拡大。

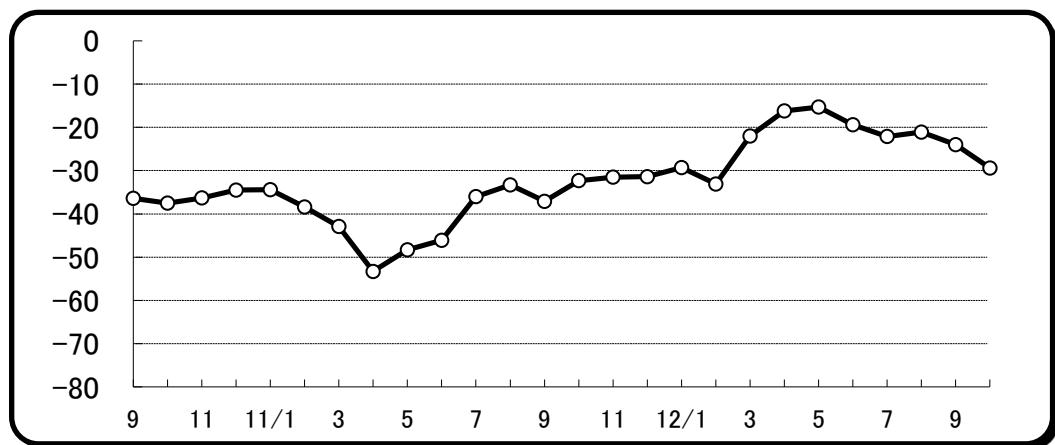
○ 向こう3カ月（11～1月）の先行き見通しについては、全産業合計の採算D I（今月ベース）は▲25.9（今月比+3.5）と、改善を見込んでいる。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、製造業はほぼ横ばい、その他の4業種は改善する見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲15.3	▲19.4	▲22.1	▲21.1	▲24.0	▲29.4	▲25.9
建設	▲26.4	▲22.8	▲23.5	▲22.4	▲17.0	▲25.3	▲22.9
製造	▲6.7	▲14.7	▲17.1	▲16.0	▲27.7	▲30.1	▲30.3
卸売	▲11.2	▲9.5	▲16.1	▲22.4	▲18.0	▲25.3	▲20.3
小売	▲21.9	▲28.3	▲35.3	▲33.0	▲31.4	▲36.9	▲29.0
サービス	▲13.4	▲18.6	▲16.4	▲13.6	▲20.3	▲25.9	▲22.8

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



(参考)

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲10.7	▲12.7	▲13.0	▲11.2	▲14.3	▲15.9	▲17.8
建設	▲12.8	▲15.2	▲19.8	▲11.2	▲17.6	▲12.7	▲17.1
製造	▲6.5	▲7.0	▲9.7	▲9.4	▲12.9	▲14.1	▲19.5
卸売	▲5.6	▲4.5	▲4.1	▲8.6	▲10.6	▲14.4	▲12.1
小売	▲15.0	▲16.9	▲18.8	▲14.9	▲19.0	▲20.4	▲18.6
サービス	▲12.0	▲17.1	▲10.8	▲11.0	▲10.9	▲16.2	▲18.5

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲15.9と、前月からマイナス幅は拡大。売上の低迷により手元資金が不足し始めたことなどが要因。産業別にみると、建設業は改善、その他の4業種は悪化した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、マイナス幅は今月と比べ拡大する見込み。産業別にみると、卸売業、小売業で改善。その他の3業種はマイナス幅が拡大する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲25.1	▲19.3	▲15.2	▲14.7	▲19.1	▲18.9	▲18.0
建設	▲35.5	▲25.5	▲26.2	▲23.5	▲25.1	▲29.6	▲27.2
製造	▲29.0	▲21.0	▲14.3	▲15.3	▲17.3	▲15.6	▲14.9
卸売	▲20.8	▲19.0	▲12.1	▲6.3	▲21.7	▲13.7	▲12.1
小売	▲16.1	▲11.4	▲7.8	▲10.6	▲13.9	▲13.4	▲14.4
サービス	▲25.3	▲21.3	▲17.9	▲16.2	▲20.7	▲22.9	▲21.5

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲18.9と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、サービス業は悪化、小売業はほぼ横ばい、その他の2業種は、新興国経済の減速により、一部原材料で需要が減少し、価格が低下したことから改善した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、製造業、小売業はほぼ横ばい、その他の3業種は改善する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
全産業	▲1.7	▲0.3	▲0.8	1.6	▲0.2	▲0.5	0.1
建設	▲7.2	▲4.1	▲1.3	2.0	3.1	3.2	4.4
製造	▲4.0	▲0.2	▲3.3	▲5.2	▲9.5	▲8.8	▲10.6
卸売	▲6.2	▲7.8	▲5.7	▲3.4	▲6.8	▲4.6	▲1.1
小売	0.5	1.6	▲0.8	4.0	3.6	1.9	5.3
サービス	4.1	4.0	4.5	9.1	6.6	5.3	4.0

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは▲0.5と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、卸売業は人手過剰感が弱まり、小売業、サービス業は人手不足感が弱まった。その他の2業種はほぼ横ばい。製造業では、中国経済の減速に伴い、受注が減少していることから、人手過剰の傾向が続く。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しをみると、今月と比べ、ほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、建設業、小売業は人手不足感が強まるものの、サービス業は人手不足感が改善、製造業は人手過剰感が強まり、卸売業は人手過剰感が弱まる見込み。

## 2012年10月

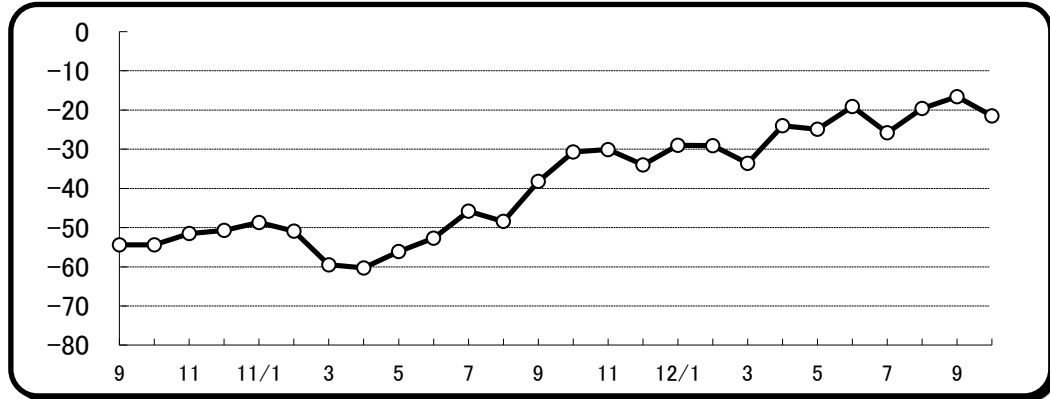
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-27.5	-20.5	-29.4	-25.9	-15.9	-17.8	-18.9	-18.0	-0.5	0.1	-32.6	-28.9
北海道	-19.0	-8.6	-18.1	-12.1	-6.0	-9.5	-18.3	-17.4	5.2	2.6	-18.1	-13.8
東北	-18.5	-15.3	-27.7	-24.4	-7.6	-16.0	-30.3	-24.4	5.0	6.7	-21.0	-21.0
北陸信越	-27.7	-23.9	-29.7	-32.3	-23.3	-22.0	-20.3	-13.8	-4.4	-4.4	-34.6	-33.3
関東	-30.1	-24.4	-31.8	-29.6	-15.5	-19.3	-16.9	-17.7	-1.4	-1.7	-32.0	-31.4
東海	-11.8	-16.8	-17.2	-25.0	-12.0	-19.1	-14.8	-15.4	3.7	0.5	-24.7	-30.6
近畿	-36.5	-20.0	-38.9	-22.9	-18.0	-10.7	-18.3	-16.1	-0.5	3.3	-42.3	-28.2
中国	-45.9	-38.9	-36.9	-34.6	-26.4	-28.3	-13.0	-16.0	-14.4	-6.4	-52.3	-40.4
四国	-37.3	-21.1	-32.7	-28.4	-15.5	-15.6	-23.6	-22.9	6.4	6.4	-40.0	-31.2
九州	-21.3	-10.7	-27.5	-16.8	-18.2	-18.2	-20.9	-22.3	-2.7	-2.0	-30.9	-23.3
建設												
全国	-11.5	-16.3	-25.3	-22.9	-12.7	-17.1	-29.6	-27.2	3.2	4.4	-21.5	-24.2
北海道	-16.0	-32.0	-16.0	-28.0	-8.0	-16.0	-40.0	-16.0	0.0	4.0	-8.0	-24.0
東北	13.6	4.8	0.0	-4.5	0.0	-9.1	-63.6	-50.0	22.7	18.2	-4.5	-4.5
北陸信越	-11.8	-26.5	-33.3	-30.3	-20.6	-26.5	-32.4	-26.5	0.0	-5.9	-20.6	-32.4
関東	-30.8	-12.3	-36.9	-23.1	-18.8	-18.8	-25.4	-23.8	-9.4	1.6	-24.6	-16.9
東海	25.0	4.2	4.3	-13.0	0.0	-8.3	-33.3	-37.5	29.2	20.8	-16.7	-20.8
近畿	-8.3	-4.2	-30.4	-13.0	-16.7	0.0	0.0	-20.8	4.0	12.0	-17.4	-13.0
中国	-7.1	-42.9	-7.1	-28.6	-7.1	-28.6	-7.1	-14.3	0.0	-7.1	-28.6	-50.0
四国	-28.6	-19.0	-38.1	-33.3	-19.0	-23.8	-23.8	-14.3	9.5	9.5	-33.3	-38.1
九州	-4.3	-30.4	-39.1	-30.4	-8.7	-21.7	-39.1	-43.5	-4.3	-8.7	-39.1	-37.5
製造												
全国	-30.3	-25.6	-30.1	-30.3	-14.1	-19.5	-15.6	-14.9	-8.8	-10.6	-33.8	-31.6
北海道	-23.8	-14.3	-19.0	-23.8	0.0	-19.0	-14.3	-28.6	-4.8	-19.0	-14.3	-23.8
東北	-26.7	-26.7	-50.0	-26.7	-6.7	-20.0	-16.7	-6.7	-6.7	-6.7	-30.0	-30.0
北陸信越	-25.0	-28.1	-34.4	-40.6	-21.9	-18.8	-21.9	-12.5	-9.4	-15.6	-31.3	-37.5
関東	-29.9	-34.9	-29.9	-38.1	-16.8	-23.6	-18.7	-17.1	-5.7	-9.5	-30.8	-39.6
東海	-27.0	-27.0	-27.0	-34.9	-12.7	-23.8	-6.3	-7.9	-14.3	-17.5	-33.3	-33.3
近畿	-30.0	-22.0	-30.0	-22.0	-12.0	-12.0	-15.7	-13.7	-13.7	-7.8	-45.1	-25.5
中国	-50.0	-38.2	-23.5	-30.3	-20.6	-20.6	-11.8	-11.8	-11.8	-8.8	-52.9	-32.4
四国	-40.7	-7.4	-22.2	-14.8	-18.5	-14.8	-14.8	-25.9	3.7	-3.7	-29.6	-18.5
九州	-21.9	-3.1	-34.4	-18.8	-9.4	-12.5	-21.9	-18.8	-12.5	-6.3	-28.1	-21.9

## 2012年10月

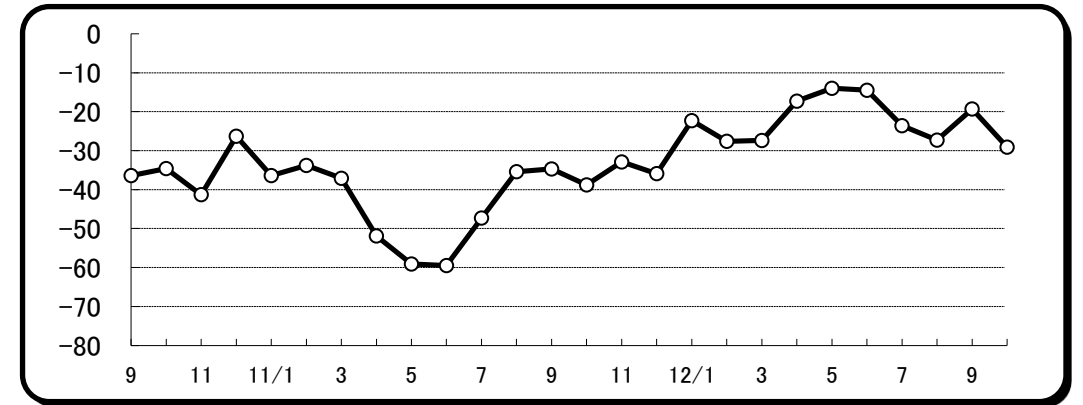
	売上(受注・出荷)		採算		資金繰り		仕入単価		従業員		業況	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-26.9	-10.9	-25.3	-20.3	-14.4	-12.1	-13.7	-12.1	-4.6	-1.1	-29.1	-24.6
北海道	0.0	15.4	-7.7	7.7	0.0	0.0	-23.1	-23.1	0.0	0.0	0.0	7.7
東北	-27.3	0.0	-18.2	-18.2	-27.3	-18.2	-18.2	-27.3	9.1	9.1	0.0	0.0
北陸信越	-11.1	-11.1	0.0	-16.7	-16.7	-16.7	-27.8	-5.6	0.0	11.1	-22.2	-22.2
関東	-33.3	-18.5	-37.7	-28.8	-13.0	-11.1	-18.5	-11.1	-1.9	-5.6	-46.3	-38.9
東海	-17.6	-17.6	-17.6	-29.4	-18.8	-18.8	0.0	-11.8	-17.6	-17.6	-23.5	-35.3
近畿	-26.7	-13.3	-20.0	-20.0	6.7	0.0	-13.3	-20.0	0.0	13.3	-6.7	-13.3
中国	-43.8	-33.3	-43.8	-46.7	-25.0	-26.7	18.8	20.0	-12.5	-6.3	-56.3	-50.0
四国	-50.0	0.0	-40.0	-10.0	10.0	10.0	-20.0	-20.0	0.0	10.0	-40.0	-40.0
九州	-23.8	4.8	-19.0	0.0	-33.3	-19.0	-14.3	-19.0	-14.3	-4.8	-19.0	4.8
小売												
全国	-39.9	-27.2	-36.9	-29.0	-20.4	-18.6	-13.4	-14.4	1.9	5.3	-45.9	-37.7
北海道	-33.3	-16.7	-33.3	-12.5	-12.5	-12.5	-8.3	-8.3	8.3	12.5	-41.7	-29.2
東北	-25.0	-21.4	-39.3	-25.0	-17.9	-21.4	-17.9	-21.4	0.0	7.1	-32.1	-32.1
北陸信越	-36.1	-30.6	-33.3	-41.7	-13.9	-11.1	-5.6	-2.8	-5.6	2.8	-44.4	-38.9
関東	-34.3	-26.7	-33.3	-30.4	-17.8	-21.8	-6.9	-14.0	6.0	6.0	-36.3	-34.3
東海	-28.9	-30.6	-34.2	-32.4	-13.5	-13.5	-15.8	-13.5	15.8	13.5	-47.4	-47.4
近畿	-56.3	-29.8	-54.2	-29.8	-26.1	-17.4	-26.1	-17.4	0.0	2.1	-59.2	-47.9
中国	-72.0	-43.5	-60.0	-34.8	-45.8	-36.4	-8.7	-14.3	-40.0	-17.4	-76.0	-52.2
四国	-50.0	-37.5	-41.7	-45.8	-25.0	-20.8	-33.3	-33.3	12.5	12.5	-66.7	-37.5
九州	-36.8	-13.2	-13.2	-7.9	-21.6	-13.5	-10.5	-10.5	5.3	5.3	-34.2	-23.7
サービス												
全国	-23.4	-16.0	-25.9	-22.8	-16.2	-18.5	-22.9	-21.5	5.3	4.0	-27.6	-22.6
北海道	-15.2	9.1	-12.1	0.0	-6.1	0.0	-9.4	-15.6	15.2	9.1	-18.2	3.0
東北	-25.0	-17.9	-17.9	-39.3	3.6	-10.7	-35.7	-25.0	7.1	10.7	-21.4	-21.4
北陸信越	-43.6	-17.9	-33.3	-25.6	-38.5	-33.3	-18.4	-17.9	-5.1	-7.7	-46.2	-30.8
関東	-23.8	-21.8	-25.7	-24.8	-11.1	-17.2	-18.8	-21.8	1.0	-1.0	-26.0	-25.0
東海	6.7	-2.3	0.0	-9.1	-13.6	-23.3	-22.0	-17.1	13.3	11.1	2.3	-15.9
近畿	-40.9	-18.2	-43.2	-22.7	-25.6	-11.6	-25.0	-13.6	11.4	9.1	-45.5	-22.7
中国	-36.4	-36.4	-45.5	-36.4	-27.3	-33.3	-47.6	-50.0	0.0	9.1	-36.4	-27.3
四国	-25.0	-29.6	-28.6	-29.6	-10.7	-14.8	-25.0	-18.5	3.6	7.4	-32.1	-29.6
九州	-13.9	-11.1	-34.3	-25.7	-20.0	-25.7	-23.5	-26.5	5.7	0.0	-31.4	-31.4

# 業況D I（前年同月比）の推移（全国）

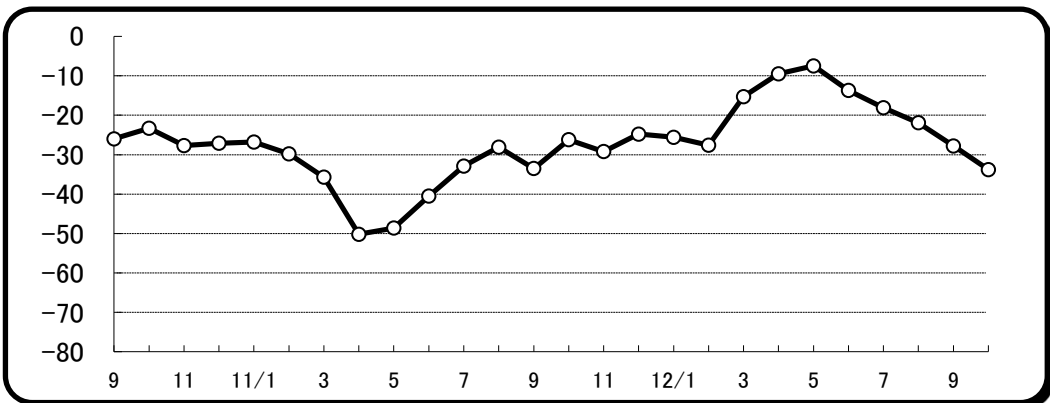
## 建設業



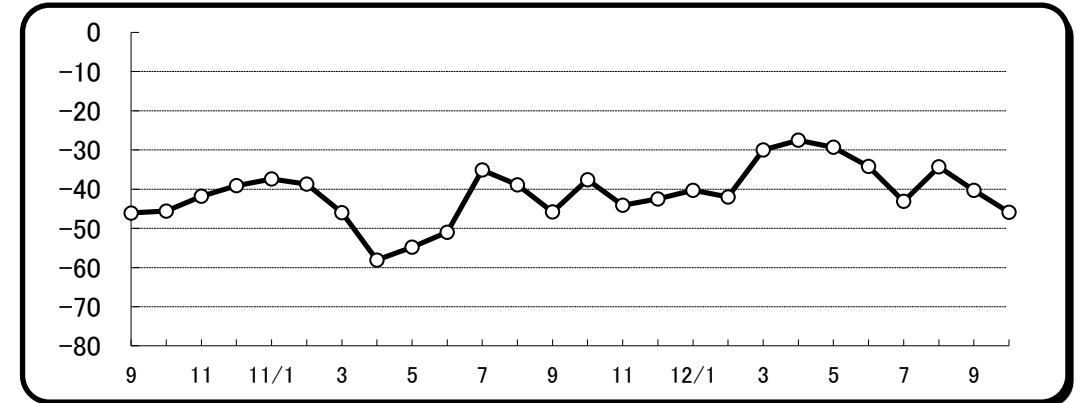
## 卸売業



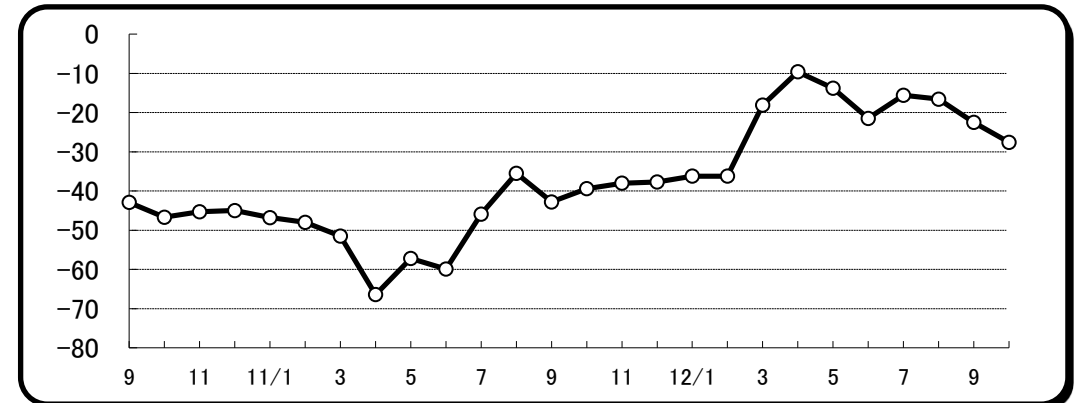
## 製造業



## 小売業



## サービス業



【ブロック別概況・北海道】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業で改善、その他の4業種で悪化した。

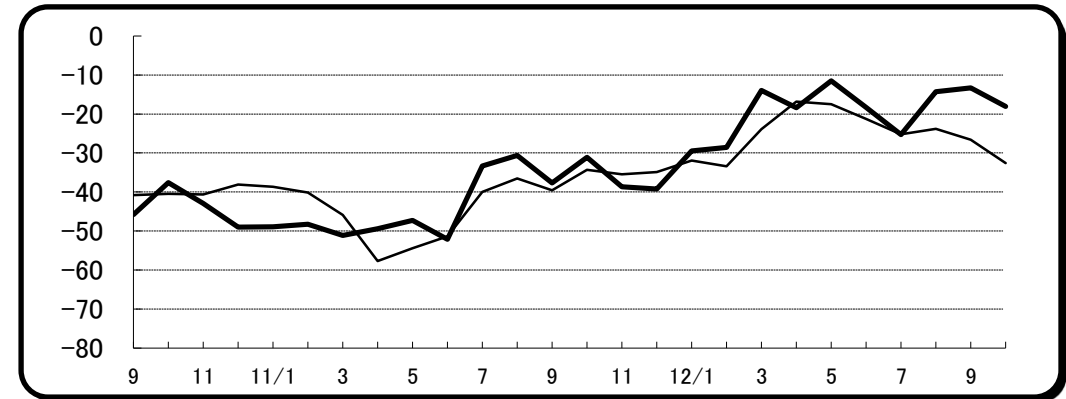
○建設工事業からは、「新規受注の減少や価格競争の激化に対応するため、エコハウスの商品開発を強化する予定」とのコメント。水産食料品製造業からは、「日中・日韓関係の悪化に伴い、中国・韓国向け商品の売上が大きく減少」とのコメント。建設用金属製品製造業からは、「造船関係の受注が底をついており、仕事量が極端に不足している」との声、港湾運輸・通関業からは、「中国向けコンテナの通関業務に係る代行依頼があったものの、キャンセルが相次いだ」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業、製造業は悪化、その他の3業種は改善する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道    —— 全国

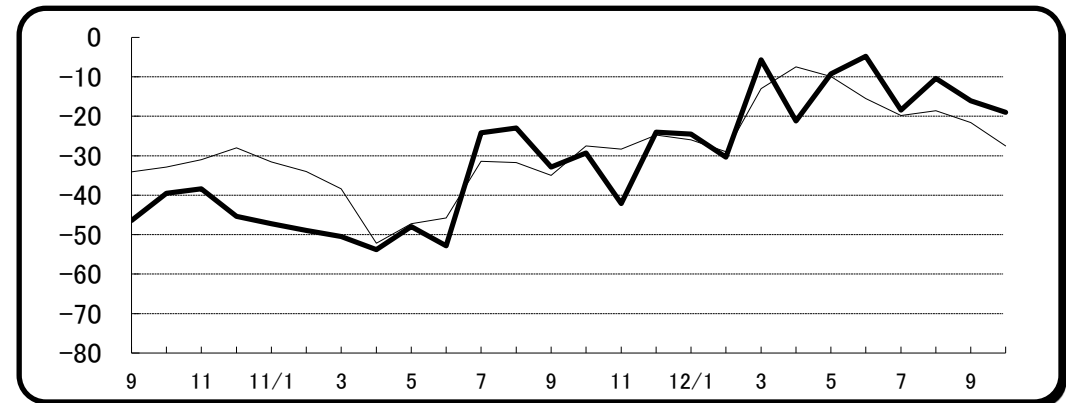
業況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 11.5	▲ 18.3	▲ 25.3	▲ 14.3	▲ 13.3	▲ 18.1	▲ 13.8
売上	▲ 9.3	▲ 4.8	▲ 18.4	▲ 10.4	▲ 16.1	▲ 19.0	▲ 8.6
採算	▲ 12.6	▲ 6.1	▲ 16.1	▲ 11.7	▲ 15.9	▲ 18.1	▲ 12.1
資金繰り	▲ 9.4	▲ 3.7	▲ 8.0	▲ 1.3	▲ 8.0	▲ 6.0	▲ 9.5
仕入単価	▲ 14.7	▲ 12.2	▲ 12.6	▲ 7.8	▲ 17.0	▲ 18.3	▲ 17.4
従業員	1.0	2.4	▲ 2.3	1.3	▲ 1.8	5.2	2.6

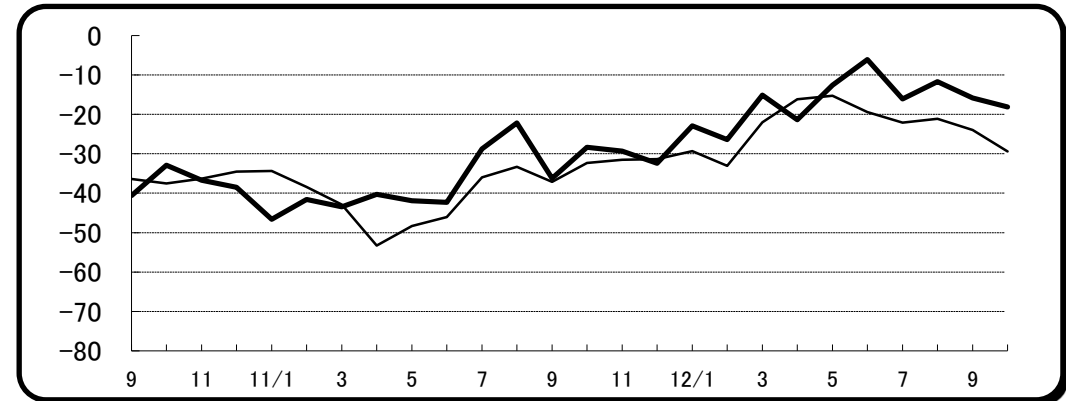
売上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 11.8	0.0	▲ 21.4	▲ 15.4	▲ 15.0	▲ 8.0	▲ 24.0
製造	5.6	▲ 7.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 4.8	▲ 14.3	▲ 23.8
卸売	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 12.5	▲ 11.1	7.1	0.0	7.7
小売	▲ 20.0	▲ 47.6	▲ 36.0	▲ 31.6	▲ 28.6	▲ 41.7	▲ 29.2
サービス	▲ 6.9	▲ 8.3	▲ 20.8	10.0	▲ 16.2	▲ 18.2	3.0

採算



【ブロック別概況・東北】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみても、全業種で悪化した。

○一般工事業からは、「復興に係る公共工事は沿岸部に集中。内陸部では発注が少ないため、先行きが不安」とのコメント。麺類製造業からは、「原材料価格が高止まりしている。販売価格に転嫁できず、値下げ圧力も強い」とのコメント。印刷業からは、「風評被害が続いており、自社への発注が敬遠されているため、売上の低迷が深刻になっている」との声、百貨店からは、「10月に入って気温が低下していることから、今後の冬物商品の動きに期待したい」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ横ばいとなる見込み。産業別にみても、全業種で横ばいの見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲1.6	▲9.1	▲3.3	▲13.4	▲4.8	▲21.0	▲21.0
売上	9.0	▲1.7	▲11.5	▲6.2	2.9	▲18.5	▲15.3
採算	▲4.9	▲11.6	▲16.4	▲11.5	▲6.7	▲27.7	▲24.4
資金繰り	2.5	▲2.5	0.0	▲1.8	▲6.8	▲7.6	▲16.0
仕入単価	▲35.2	▲32.5	▲18.9	▲27.4	▲29.8	▲30.3	▲24.4
従業員	6.6	6.6	13.9	8.0	6.7	5.0	6.7

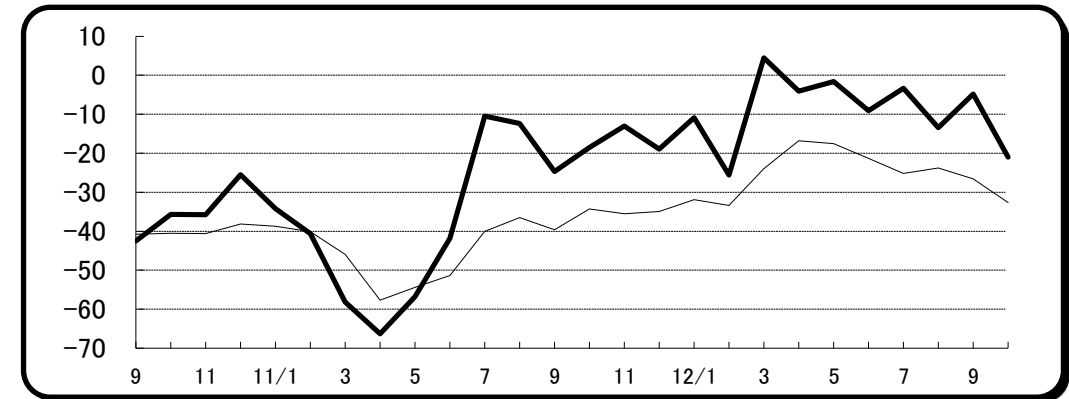
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲8.7	8.3	8.3	▲4.5	4.5	▲4.5	▲4.5
製造	7.4	▲6.5	▲3.7	▲18.5	▲13.0	▲30.0	▲30.0
卸売	▲11.1	0.0	▲30.0	▲44.4	12.5	0.0	0.0
小売	0.0	▲20.0	▲20.0	▲18.5	▲19.2	▲32.1	▲32.1
サービス	▲3.1	▲18.5	12.9	0.0	4.0	▲21.4	▲21.4

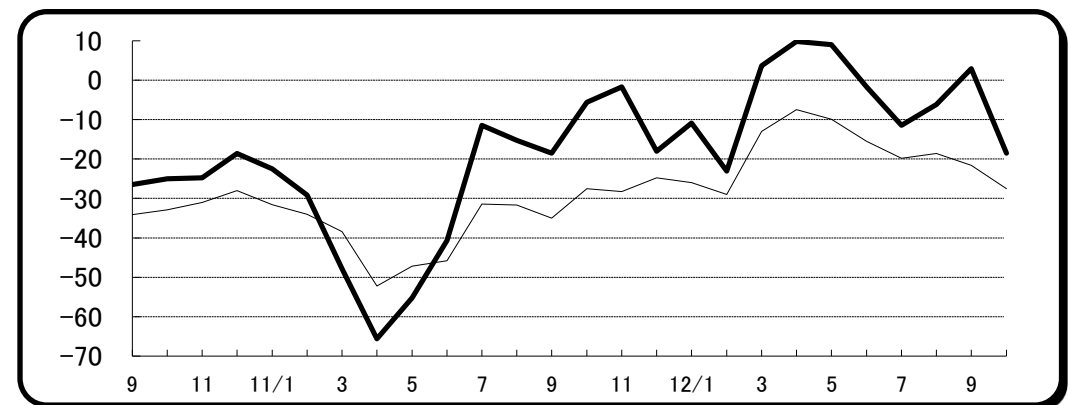
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）

—— 東北      —— 全国

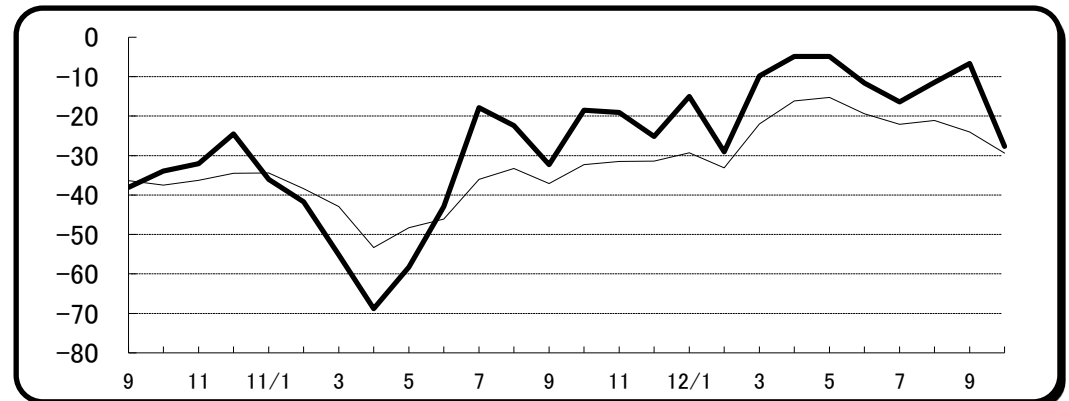
業況



売上



採算





【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、建設業、卸売業でマイナス幅が縮小、その他の3業種でマイナス幅が拡大した。

○家具製造業からは、「新製品を投入しているが、売上減少に歯止めがかからない。主力の家具以外の製品開発も検討する」とのコメント。金属加工機械製造業からは、「海外向け、国内向けともに受注が減少。人件費が経営を圧迫しており、余裕がない」とのコメント、百貨店からは、「レストラン街をリニューアルした効果により飲食は堅調だったものの、秋冬衣料が苦戦している」とのコメント。旅館業からは、「東北の誘客策や、東京の新名所オープンの影響により、地元への観光客が減少。イベントや祭りの集客効果も弱い」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、建設業、製造業は悪化、卸売業は横ばい、その他の2業種は改善する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 17.5	▲ 24.2	▲ 21.8	▲ 19.1	▲ 25.8	▲ 34.6	▲ 33.3
売上	▲ 10.2	▲ 24.2	▲ 13.5	▲ 15.7	▲ 24.2	▲ 27.7	▲ 23.9
採算	▲ 16.9	▲ 24.8	▲ 17.3	▲ 20.3	▲ 26.6	▲ 29.7	▲ 32.3
資金繰り	▲ 13.9	▲ 15.9	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 19.7	▲ 23.3	▲ 22.0
仕入単価	▲ 23.4	▲ 21.6	▲ 15.5	▲ 17.6	▲ 14.1	▲ 20.3	▲ 13.8
従業員	0.7	▲ 3.3	▲ 2.6	▲ 0.7	▲ 3.9	▲ 4.4	▲ 4.4

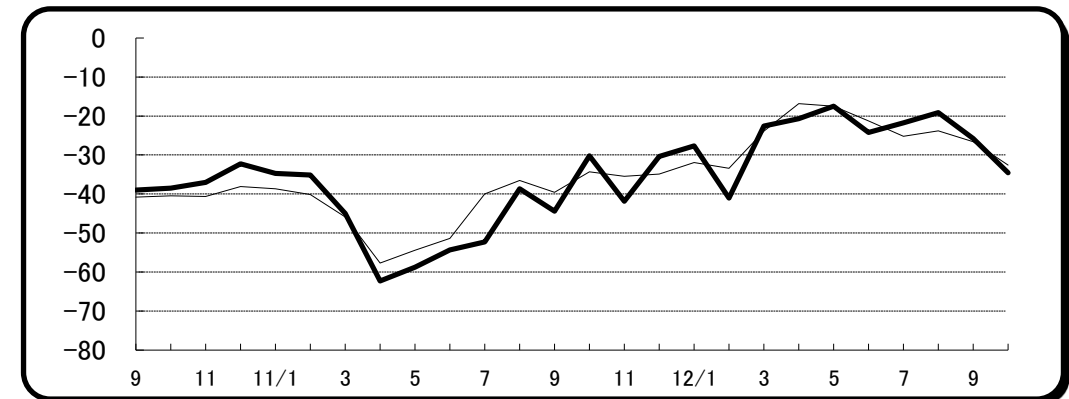
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 26.7	▲ 21.9	▲ 24.1	▲ 20.6	▲ 32.4
製造	▲ 13.8	▲ 8.8	▲ 22.6	▲ 11.8	▲ 23.3	▲ 31.3	▲ 37.5
卸売	▲ 14.3	▲ 15.8	▲ 27.8	▲ 20.0	▲ 46.2	▲ 22.2	▲ 22.2
小売	▲ 20.0	▲ 22.9	▲ 23.5	▲ 15.6	▲ 21.4	▲ 44.4	▲ 38.9
サービス	▲ 5.3	▲ 33.3	▲ 14.0	▲ 26.5	▲ 25.0	▲ 46.2	▲ 30.8

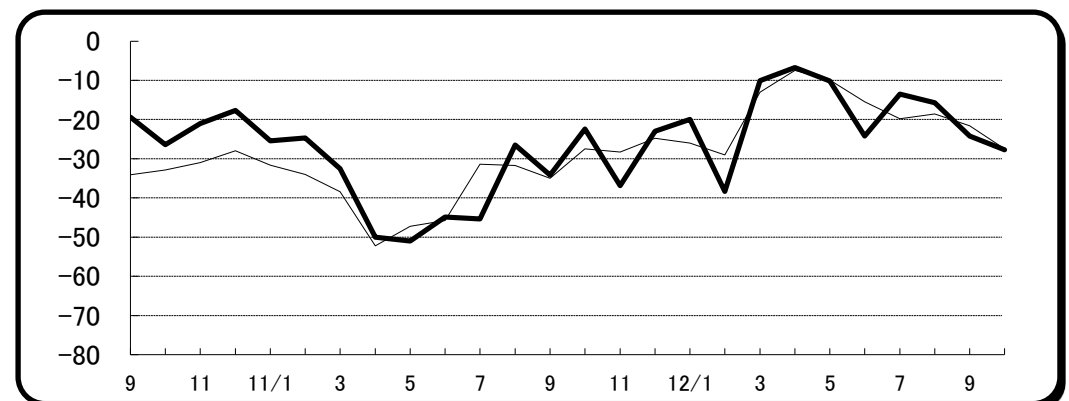
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越    —— 全国

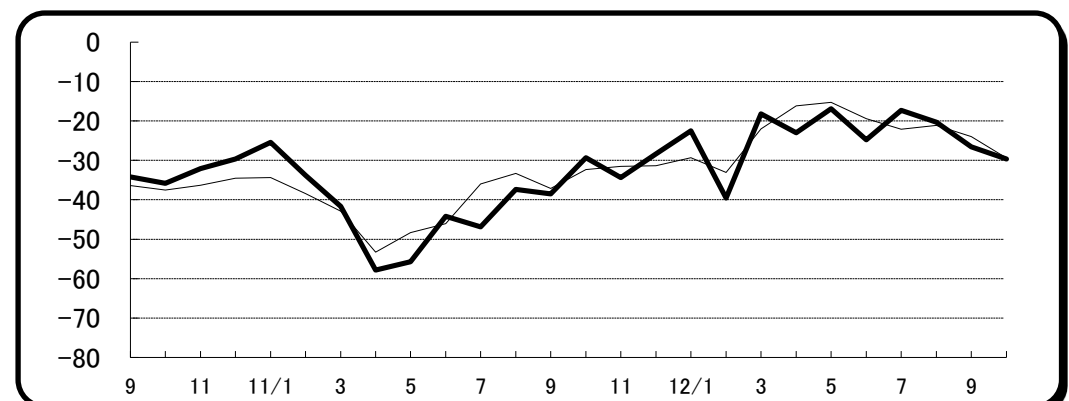
業況



売上



採算



【ブロック別概況・関東】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅は拡大。産業別にみると、製造業、小売業はマイナス幅が縮小したものの、その他の3業種で悪化した。

○一般工事業からは、「復興工事に伴い、資材価格が上昇。技能工も、給与条件の良いところへ流れており、人手不足となっている」との声、家具製造業からは、「新規の設備投資を実施。中国製品との差別化を図り、売上を確保するため、高品質の商品開発に注力する」とのコメント。農産物卸売業からは、「基準値を超える放射性物質が検出され、出荷停止となった野菜が多く、自社の売上への影響が大きい」とのコメント。運送業からは、「取引先メーカーにおいて、薄型テレビの生産縮小や日中関係の悪化に伴う減産を行ったことで、自社の受注が減少」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べほぼ横ばいとなる見込み。産業別にみると、製造業は悪化、サービス業はほぼ横ばい、その他の3業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 25.9	▲ 25.3	▲ 28.1	▲ 32.0	▲ 31.4
売上	▲ 8.0	▲ 16.0	▲ 18.3	▲ 19.6	▲ 22.6	▲ 30.1	▲ 24.4
採算	▲ 14.6	▲ 24.0	▲ 22.5	▲ 24.0	▲ 25.8	▲ 31.8	▲ 29.6
資金繰り	▲ 10.1	▲ 12.8	▲ 12.9	▲ 13.5	▲ 16.0	▲ 15.5	▲ 19.3
仕入単価	▲ 26.2	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 16.8	▲ 20.9	▲ 16.9	▲ 17.7
従業員	▲ 0.4	1.7	▲ 0.4	3.0	4.0	▲ 1.4	▲ 1.7

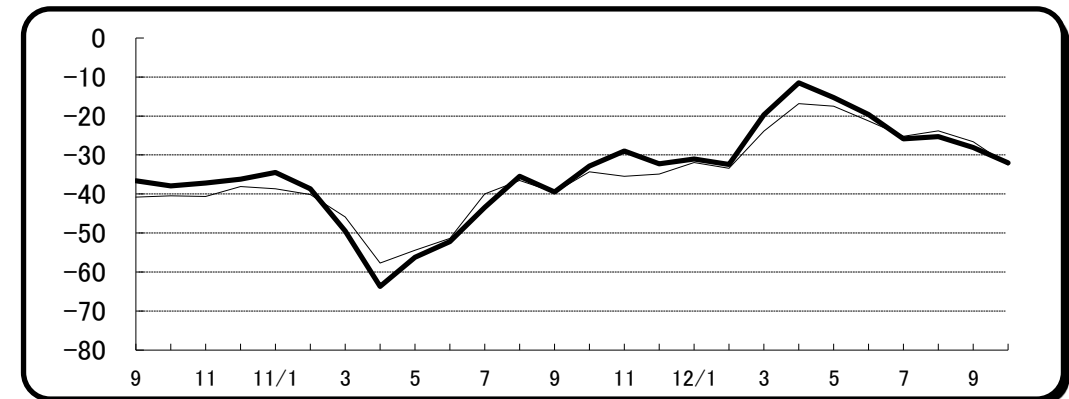
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 20.8	▲ 13.7	▲ 23.1	▲ 18.7	▲ 10.3	▲ 24.6	▲ 16.9
製造	▲ 9.3	▲ 24.0	▲ 27.0	▲ 29.8	▲ 37.4	▲ 30.8	▲ 39.6
卸売	▲ 6.2	▲ 1.6	▲ 18.0	▲ 27.9	▲ 19.6	▲ 46.3	▲ 38.9
小売	▲ 25.7	▲ 24.3	▲ 42.3	▲ 31.5	▲ 42.4	▲ 36.3	▲ 34.3
サービス	▲ 13.9	▲ 24.3	▲ 15.0	▲ 17.5	▲ 20.6	▲ 26.0	▲ 25.0

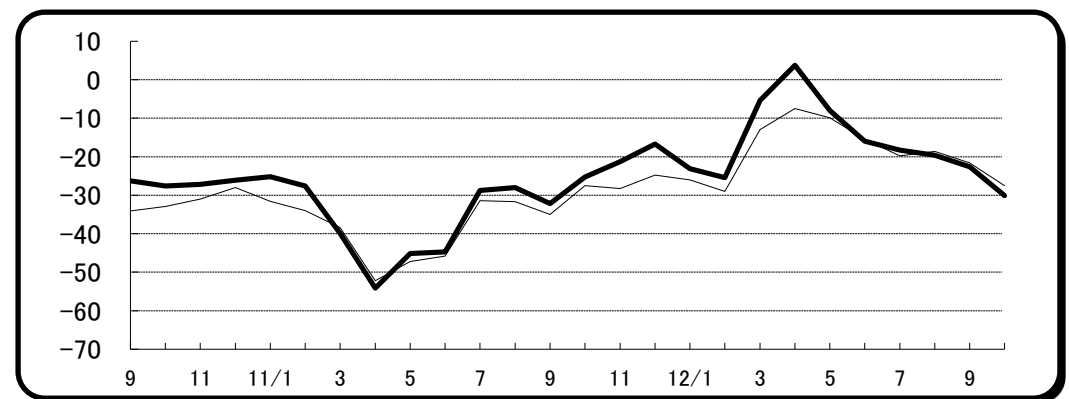
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）

——— 関東      —— 全国

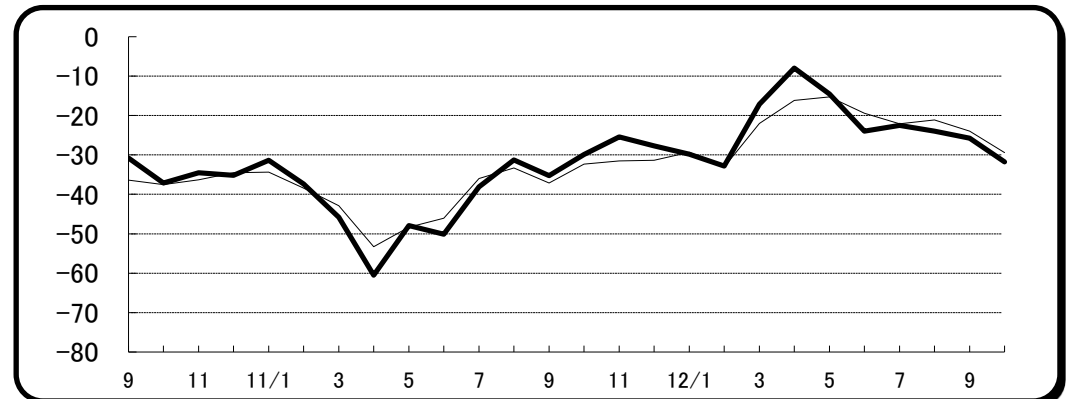
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東海】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、小売業、サービス業は改善、その他の3業種は悪化した。

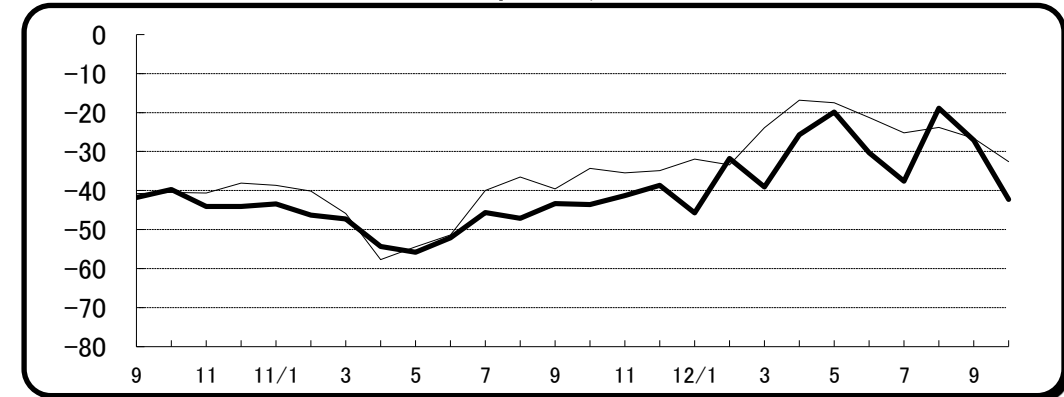
○管工事業からは、「取引先の設備投資が見送られていることから、予定していた売上が確保できない」とのコメント。水産食料品製造業からは、「中国から原材料を調達しているため、今後の日中関係の悪化に伴う影響を懸念」とのコメント。自動車部品製造業からは、「円高による輸出低迷に加え、中国における日本車の不買運動により、取引先メーカーが減産を進めたことから、自社においても受注が減少」との声、ソフトウェア開発業からは、「受注は少ないものの、人員の配置転換をはじめ、経営の効率化を進めており、採算では改善傾向」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ悪化する見込み。産業別にみると、製造業、小売業は横ばい、その他の3業種で悪化する見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

——— 東海      —— 全国

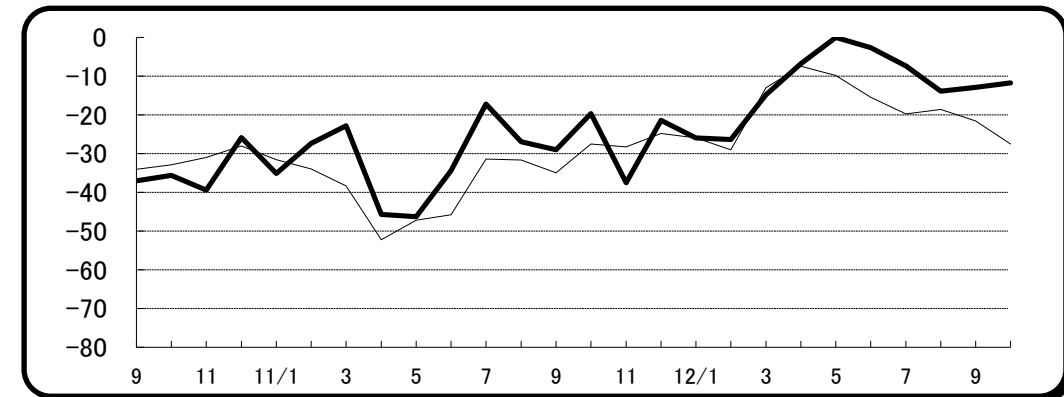
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
業 況	▲ 6.7	▲ 11.1	▲ 12.7	▲ 15.8	▲ 22.1	▲ 24.7	▲ 30.6
売 上	0.0	▲ 2.7	▲ 7.4	▲ 13.9	▲ 12.9	▲ 11.8	▲ 16.8
採 算	▲ 2.9	▲ 6.3	▲ 15.3	▲ 12.8	▲ 17.6	▲ 17.2	▲ 25.0
資金繰り	▲ 7.8	▲ 12.4	▲ 10.6	▲ 5.5	▲ 9.4	▲ 12.0	▲ 19.1
仕入単価	▲ 24.0	▲ 16.1	▲ 11.5	▲ 8.6	▲ 18.0	▲ 14.8	▲ 15.4
従業員	0.5	3.7	2.4	3.4	▲ 2.1	3.7	0.5

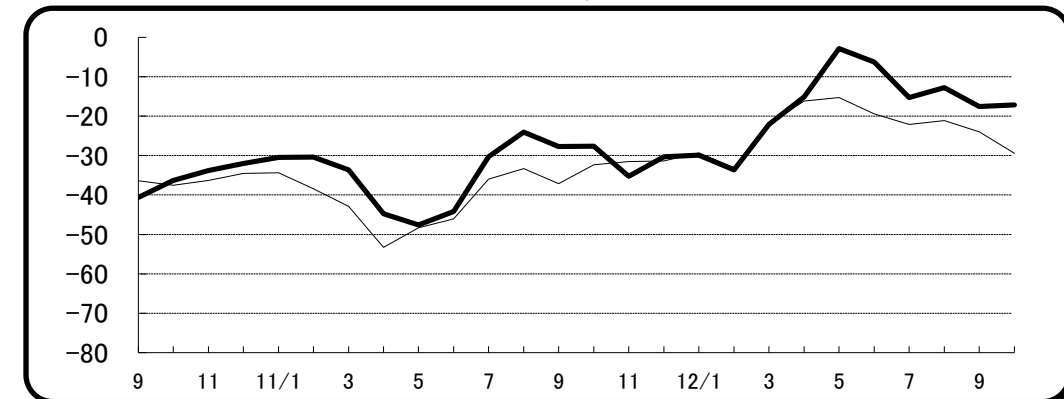
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11～1月
建 設	▲ 30.8	▲ 17.4	▲ 35.7	▲ 14.3	▲ 3.7	▲ 16.7	▲ 20.8
製 造	14.5	5.2	4.7	▲ 5.7	▲ 20.3	▲ 33.3	▲ 33.3
卸 売	0.0	▲ 22.2	▲ 5.6	▲ 16.7	▲ 5.9	▲ 23.5	▲ 35.3
小 売	▲ 34.1	▲ 42.1	▲ 42.5	▲ 40.5	▲ 50.0	▲ 47.4	▲ 47.4
サービス	▲ 3.6	0.0	▲ 1.8	▲ 8.9	▲ 17.3	2.3	▲ 15.9

採 算



【ブロック別概況・近畿】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業でマイナス幅が縮小、その他の4業種で悪化した。

○一般工事業からは、「業況悪化に伴い設備投資意欲が減退している企業が多く、受注に至らない」との声、電子回路基板製造業からは、「好調だった受注件数が減少に転じた。新規の案件も乏しく、先行きは不透明」とコメント。商店街からは、「シニア層の利用が多く、若者は近隣の大手専門店等へ流れている。商店街全体の来客数減少に歯止めがかからない」とのコメント。旅館業からは、「前年同月と比べると、宿泊・日帰りともに利用客が減少。11月は団体客が増える見込み」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、卸売業はマイナス幅が拡大するものの、その他の4業種は改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 19.9	▲ 30.3	▲ 37.6	▲ 18.9	▲ 27.1	▲ 42.3	▲ 28.2
売上	▲ 8.2	▲ 17.2	▲ 31.9	▲ 13.8	▲ 21.1	▲ 36.5	▲ 20.0
採算	▲ 18.9	▲ 28.2	▲ 28.3	▲ 18.6	▲ 22.9	▲ 38.9	▲ 22.9
資金繰り	▲ 8.8	▲ 12.2	▲ 18.9	▲ 3.6	▲ 12.1	▲ 18.0	▲ 10.7
仕入単価	▲ 28.4	▲ 18.1	▲ 11.0	▲ 7.2	▲ 15.6	▲ 18.3	▲ 16.1
従業員	▲ 3.6	▲ 2.9	▲ 1.2	1.2	1.1	▲ 0.5	3.3

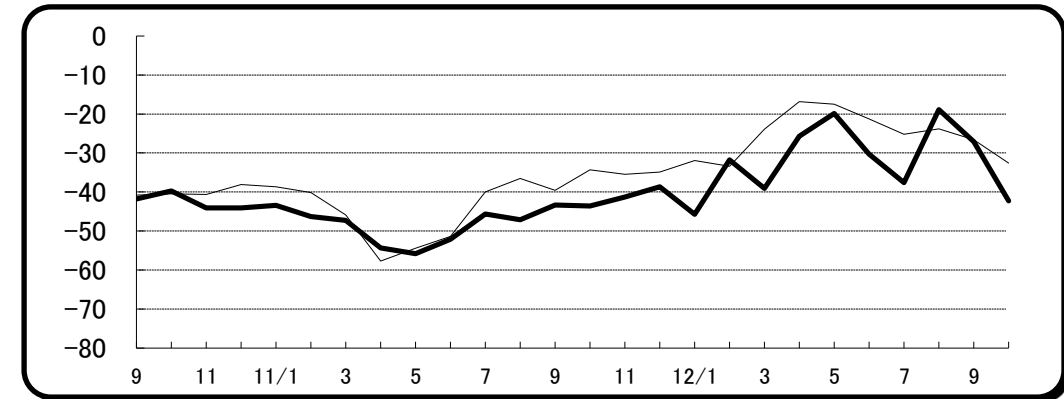
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 4.8	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 13.0	▲ 17.4	▲ 13.0
製造	▲ 13.2	▲ 11.3	▲ 25.5	▲ 7.8	▲ 20.8	▲ 45.1	▲ 25.5
卸売	▲ 26.3	▲ 21.1	▲ 31.3	▲ 31.3	▲ 20.0	▲ 6.7	▲ 13.3
小売	▲ 29.1	▲ 47.7	▲ 54.5	▲ 32.5	▲ 36.4	▲ 59.2	▲ 47.9
サービス	▲ 20.8	▲ 43.9	▲ 45.0	▲ 13.2	▲ 37.8	▲ 45.5	▲ 22.7

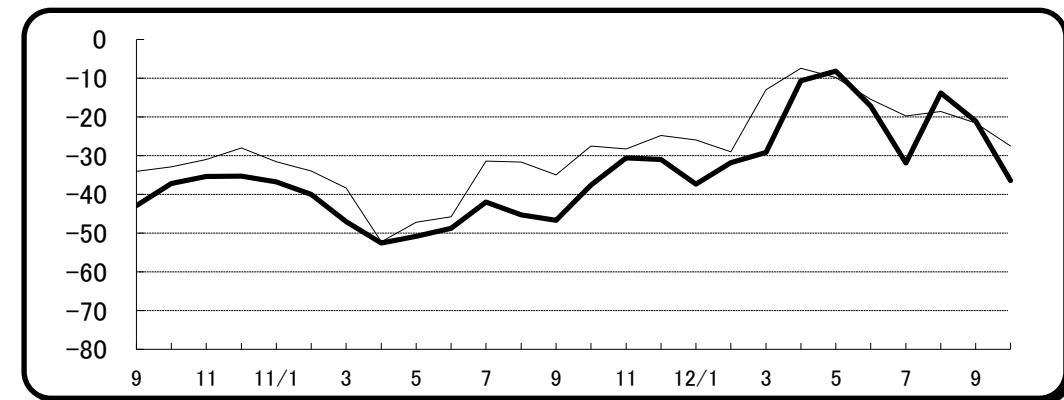
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（近畿）

近畿 全国

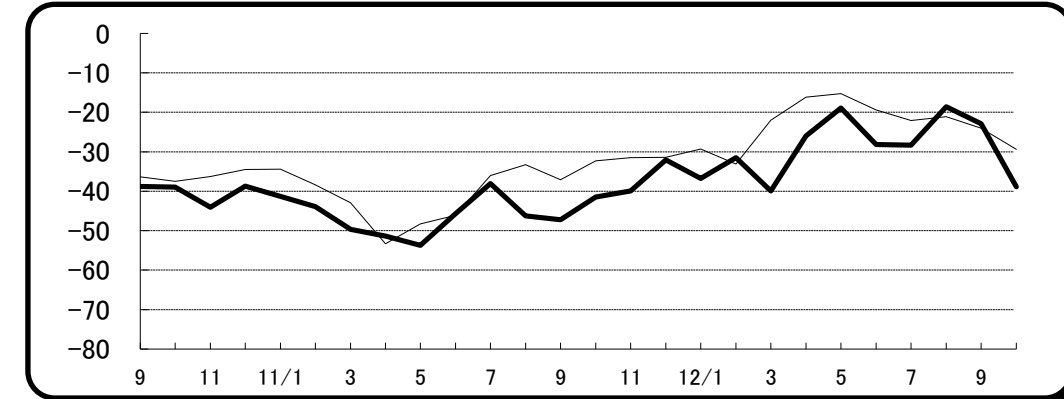
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

○全産業の業況DIは、前月と比べマイナス幅が拡大。産業別にみると、卸売業でマイナス幅が縮小したものの、その他の4業種でマイナス幅が拡大した。

○パン・菓子製造業からは、「日中関係の悪化に伴う中国での通関強化など、今後の自社への影響を懸念」とのコメント。造船業からは、「円高等の影響により、取引先の新規受注の減少が続く。自社にも影響が及んでおり、来年の見通しが立たない」とのコメント。飲食店からは、「今月に入り、観光客数が減少傾向。また、客単価も低迷が続いており、厳しい状況」との声、旅館業からは、「売上は増加しているものの、老朽化した設備にかかる修繕費が収益を圧迫」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善する見込み。産業別にみると、建設業は悪化するものの、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 30.2	▲ 27.5	▲ 31.7	▲ 50.0	▲ 41.2	▲ 52.3	▲ 40.4
売上	▲ 29.2	▲ 26.5	▲ 28.7	▲ 35.6	▲ 36.3	▲ 45.9	▲ 38.9
採算	▲ 21.9	▲ 20.8	▲ 28.7	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 36.9	▲ 34.6
資金繰り	▲ 20.0	▲ 16.8	▲ 17.3	▲ 19.1	▲ 19.2	▲ 26.4	▲ 28.3
仕入単価	▲ 17.9	▲ 11.9	▲ 16.0	▲ 3.4	▲ 8.9	▲ 13.0	▲ 16.0
従業員	▲ 15.6	▲ 10.8	▲ 10.9	▲ 6.7	▲ 8.8	▲ 14.4	▲ 6.4

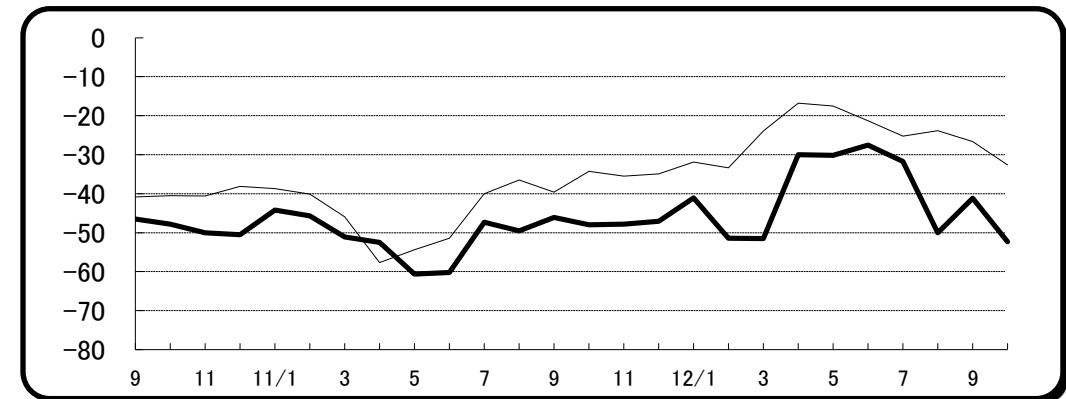
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 20.0	0.0	▲ 27.3	▲ 11.1	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 50.0
製造	▲ 23.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 51.9	▲ 33.3	▲ 52.9	▲ 32.4
卸売	▲ 18.8	▲ 42.9	▲ 40.0	▲ 53.8	▲ 69.2	▲ 56.3	▲ 50.0
小売	▲ 40.9	▲ 48.0	▲ 65.2	▲ 75.0	▲ 60.0	▲ 76.0	▲ 52.2
サービス	▲ 44.4	▲ 20.0	▲ 10.5	▲ 29.4	▲ 25.0	▲ 36.4	▲ 27.3

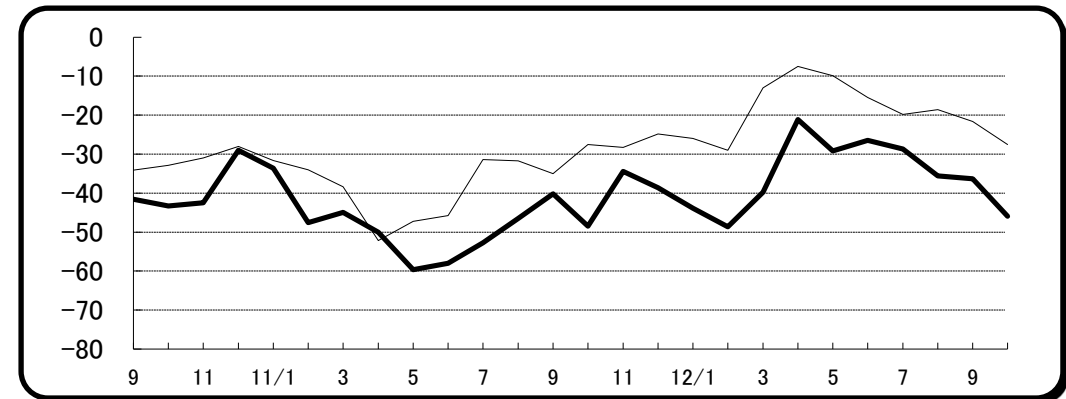
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国      —— 全国

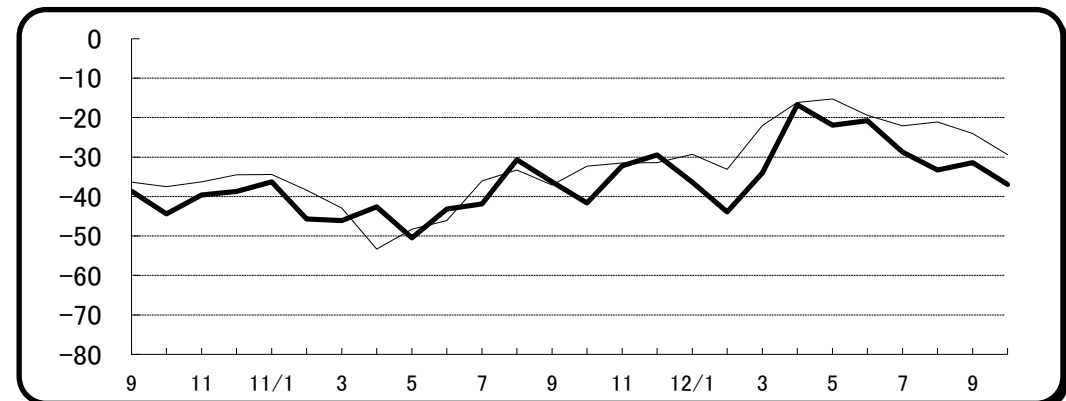
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況D Iは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、製造業でマイナス幅が縮小、その他の3業種で拡大した。

○建築工事業からは、「受注単価が低く、収益確保は厳しいものの、受注件数は多いため売上は増加」とのコメント。化学・一般機械製造業からは、「中国経済減速の影響を受けて国内メーカーからの発注が減少。とりわけ、建設機械関連での落ち込みが激しい」との声、商店街からは、「薄型テレビをはじめとした家電製品の売上低迷が深刻」とのコメント。旅館業からは、「葉物野菜や食用油の値上げにより、採算が悪化している」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月と比べマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、建設業で悪化、卸売業で横ばい、その他の3業種で改善する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 37.4	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 29.2	▲ 40.4	▲ 40.0	▲ 31.2
売上	▲ 25.2	▲ 26.4	▲ 32.5	▲ 28.3	▲ 34.9	▲ 37.3	▲ 21.1
採算	▲ 21.7	▲ 24.0	▲ 30.8	▲ 27.4	▲ 36.7	▲ 32.7	▲ 28.4
資金繰り	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.5	▲ 18.6	▲ 13.8	▲ 15.5	▲ 15.6
仕入単価	▲ 27.8	▲ 24.0	▲ 23.1	▲ 22.1	▲ 22.9	▲ 23.6	▲ 22.9
従業員	▲ 3.5	▲ 3.3	▲ 6.8	▲ 0.9	0.0	6.4	6.4

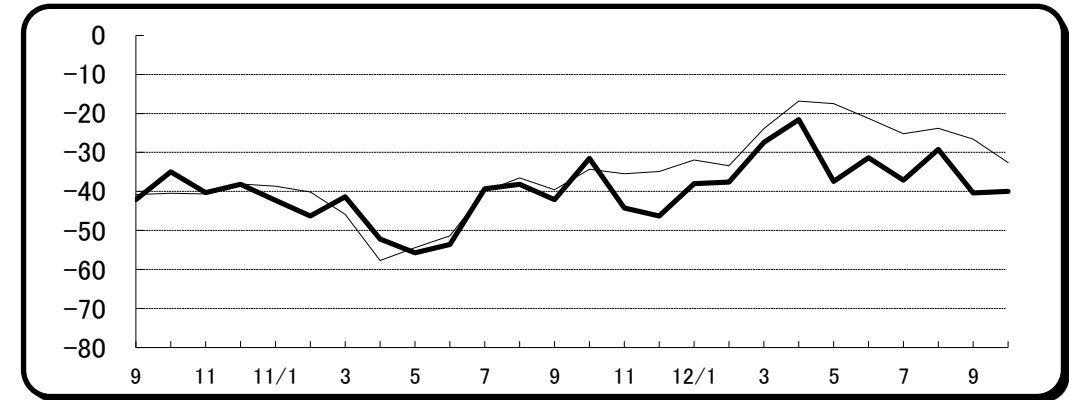
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 52.4	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 35.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 38.1
製造	▲ 34.5	▲ 17.9	▲ 28.6	▲ 25.0	▲ 36.0	▲ 29.6	▲ 18.5
卸売	▲ 30.0	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 40.0
小売	▲ 44.4	▲ 43.3	▲ 50.0	▲ 40.7	▲ 55.6	▲ 66.7	▲ 37.5
サービス	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 26.9	▲ 19.2	▲ 29.6	▲ 32.1	▲ 29.6

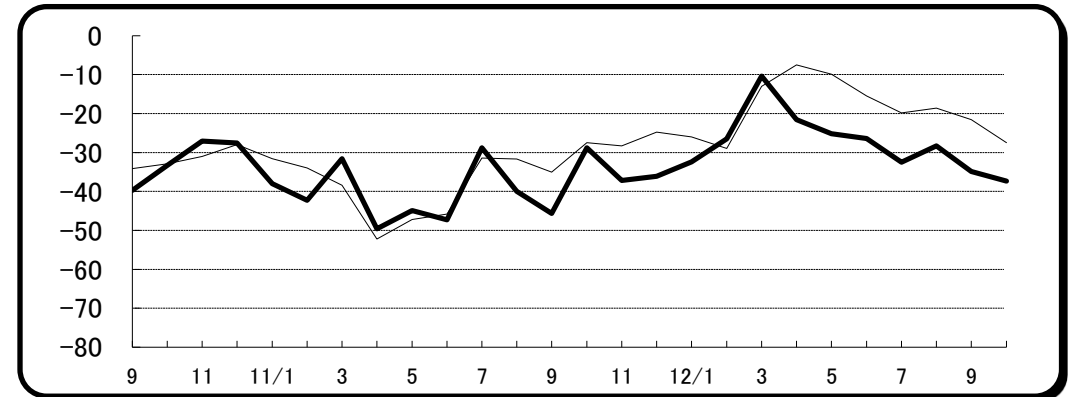
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（四国）

——— 四国      ——— 全国

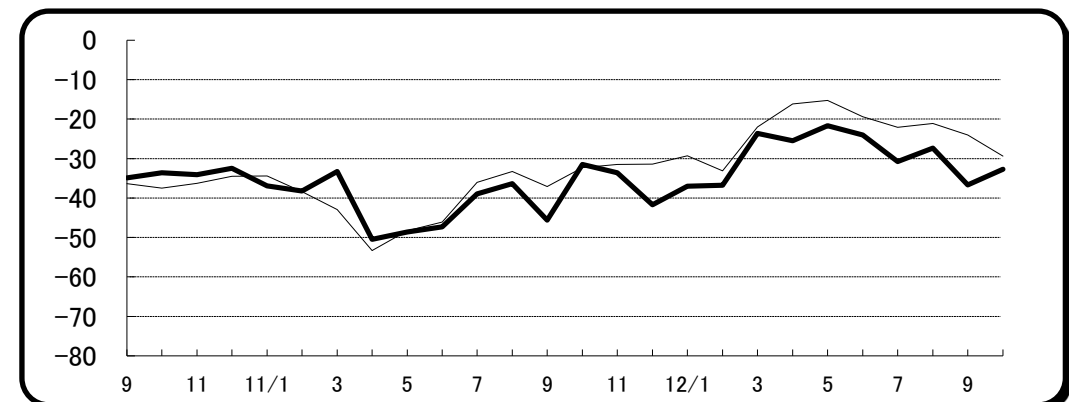
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

○全産業の業況D Iは、前月と比べマイナス幅が縮小。産業別にみると、建設業、卸売業はマイナス幅が拡大、その他の3業種で改善した。

○建設工事からは、「台風等の災害の復旧工事が始まっており、今後、受注増加が見込まれる」とのコメント。電気機器製造業からは、「韓国向け発電プラント関連の受注が増加しており、業況は改善」とのコメント。農産物卸売業からは、「売上が低迷しているなかで、電気料金の負担が重く、経営は厳しい」との声、百貨店からは、「衣料・服飾関連のテナントを誘致。客数が大幅に増加しており、既存テナントへの波及効果に期待」とのコメントが寄せられた。

○業況の先行き見通しD Iは、全産業では今月からマイナス幅が縮小する見込み。産業別にみると、サービス業は横ばい、その他の4業種は改善する見込み。

全産業D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
業況	▲ 30.5	▲ 25.2	▲ 35.4	▲ 34.1	▲ 35.4	▲ 30.9	▲ 23.3
売上	▲ 24.1	▲ 19.9	▲ 26.7	▲ 27.4	▲ 30.8	▲ 21.3	▲ 10.7
採算	▲ 30.7	▲ 15.2	▲ 25.2	▲ 27.4	▲ 31.0	▲ 27.5	▲ 16.8
資金繰り	▲ 14.3	▲ 16.0	▲ 16.3	▲ 18.5	▲ 21.9	▲ 18.2	▲ 18.2
仕入単価	▲ 21.1	▲ 20.0	▲ 17.1	▲ 16.3	▲ 22.5	▲ 20.9	▲ 22.3
従業員	▲ 6.4	▲ 2.6	▲ 3.8	▲ 0.7	▲ 6.2	▲ 2.7	▲ 2.0

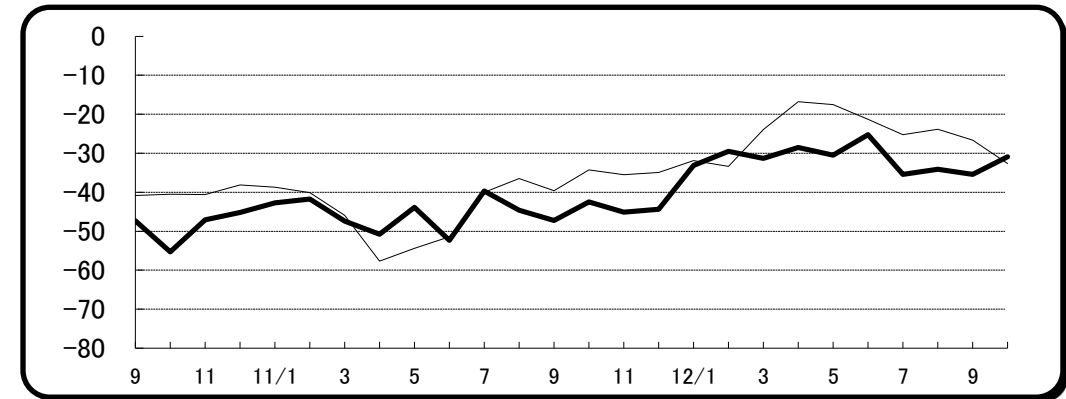
産業別業況D I（前年同月比）の推移

	12年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	先行き見通し 11~1月
建設	▲ 38.1	▲ 42.9	▲ 72.2	▲ 31.8	▲ 36.8	▲ 39.1	▲ 37.5
製造	▲ 13.8	▲ 18.2	▲ 16.1	▲ 33.3	▲ 44.4	▲ 28.1	▲ 21.9
卸売	▲ 19.0	0.0	▲ 11.8	▲ 22.2	▲ 10.0	▲ 19.0	4.8
小売	▲ 55.6	▲ 35.9	▲ 56.3	▲ 35.3	▲ 40.6	▲ 34.2	▲ 23.7
サービス	▲ 20.6	▲ 23.7	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 31.4	▲ 31.4

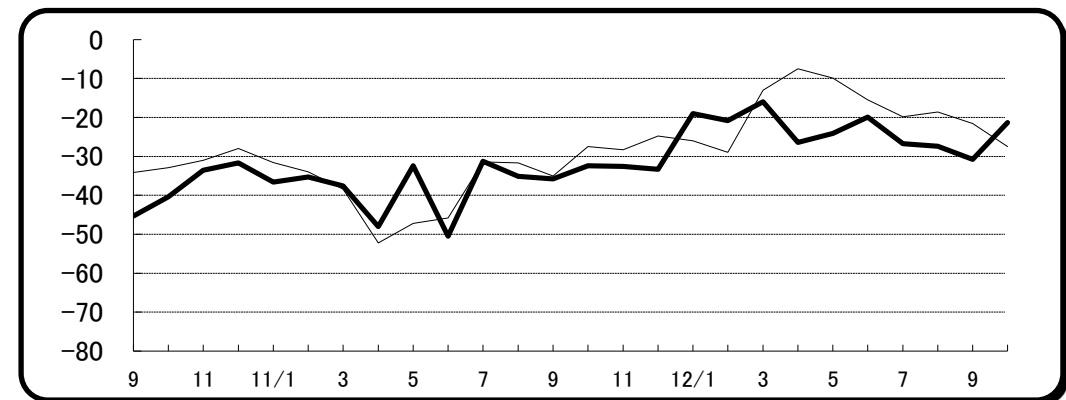
ブロック別全産業D I（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

